



子どもたちを包み込むはぐくみの環境づくり 丹後はぐくみネットワーク通信

京都府丹後教育局
のホームページも
ご覧ください

丹後教育局 社会教育広報紙 平成 27 年度第 1 号 (通算 40 号) 平成 27 年 5 月 15 日
TEL 0772-22-2175 FAX 0772-22-0479 HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-k/>

平成 27 年度 丹後教育局の社会教育事業

京都府丹後教育局では「子どもたちを包み込むはぐくみの環境づくり」に向け、情報提供を目的とした社会教育広報紙「丹後はぐくみネットワーク通信」を発行します。

各家庭や地域社会における様々な活動や取組、研修会等で役立つ資料を提供します。社会総がかりで子どもたちの健やかな成長を支えていくために、本紙を御活用いただけますと幸いです。

丹後教育局
本年度の方針

誕生から自立まで

切れ目のない子育て支援の充実

●丹後はぐくみフェスティバル●

期日：平成 27 年 10 月 3 日(土)

場所：与謝野町勤労者総合福祉センター他

丹後における望ましい子育てや家庭教育の環境づくりを進めるため、丹後広域振興局とも連携し、誕生から自立までの「切れ目のない子育て支援の充実」に向けた学びの場を提供します。(いじめ・非行防止フォーラムと併せて実施することとしています。)

NEW

●丹後地域サポーター育成事業●

期日：平成 27 年 12 月上旬

豊富な社会体験や技能を持っておられる地域の皆様に、地域サポーターについて御理解いただき、様々な活動を支援するサポーターとして活躍していただくための研修会を行います。

NEW

●「将来の親」子育て教育事業●

将来の親である中学生・高校生が実際に乳幼児に触れるなど、家庭や子育てについて理解を深める学習機会を提供します。【年間 8 回程度】

NEW

●丹後 PTA 指導者研修会●

期日：平成 27 年 5 月 30 日(土)

場所：与謝野町勤労者総合福祉センター

内容：実践発表

江陽中学校 P T A

講演

大阪成蹊大学

教授 山本智也 様

社会の変化に対応し、家庭・学校・地域社会の教育力を一層高め、社会総がかりで子どもを育てる環境づくりに努めることを目指し、PTA の役割や活動等について研修会を行います。



(昨年度の様子)

●丹後「京のまなび教室」指導者等研修会●

期日：平成 27 年 7 月 2 日(木)

今年度は、放課後の学校における子どもの居場所づくりに、より重点を置いた内容で研修会を行います。



(昨年度の様子)

●丹後家庭教育支援協議会●

丹後における家庭教育支援や当局の家庭教育支援事業について、地域の様々な立場で御活躍の方から意見をうかがい、家庭教育支援の課題解決のための方策について協議をします。

第 1 回：平成 27 年 5 月 19 日(火)

第 2 回：平成 27 年 9 月上旬

第 3 回：平成 27 年 12 月上旬



(昨年度の様子)

優良公民館表彰を受賞！



京丹後市丹後地域公民館が第 67 回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）を受賞されました。

丹後地域公民館は、地域の社会教育の中核施設として、住民のニーズに即したきめ細やかな活動を実施し、特に、「人づくり」を重要な柱としておられます。

その取組の一環として気軽に話し合え、子育ての不安や悩みを解消する場として「子育て交流会」を開催されています。



家庭教育資料を 紹介します！



子どもの失敗はしつけのチャンス

Q1

ゲームで遊んでいるときなど、後片付けがなかなかできません。どのように声をかけたらよいでしょうか。

A1

遊びに夢中で、なかなか言うことを聞かないときには、一緒に行動してあげることが大切です。ときには、一緒に楽しみながら後片付けをしてみてください。



Point

- 1つ1つ根気よく
- 大人が手本を示す
- 他人と比較しない

● ゲームで遊ぶときは、最初にルールを決めることが大切です。
● 守らないときはゲームをさせない毅然とした態度も必要ではないでしょうか。
● ときには我慢することを経験させることで、何事にも根気よく取り組む態度を育てることにつながるのではないのでしょうか。

50かえってみよう

あなたのご家庭では、どのような決まりやルールがありますか。



京都府教育委員会では、家庭における子育ての現状や保護者の不安・悩み等を把握し、今後の家庭教育支援施策に活用することを目的として、京都府内の小学校就学前の保護者（京都市を除く）

を対象に、「子育てアンケート」を実施しました。

その結果をもとに家庭教育資料「親の学び 一人で悩まないで」を作成しました。

このリーフレットには、アンケート結果のほか、「しつけ」の仕方等について、4つの場面を例にあげてQ&Aが掲載されています。

P T Aの研修会や保育所、幼稚園、小学校等の様々な場面で活用いただける資料になっておりますので、ぜひ御活用ください。

御希望・利用方法等の問い合わせにつきましては、当局社会教育担当まで御連絡ください。

(☎0772-22-4504)

【次号】通信第2号：平成27年7月上旬発行予定

当局主催の「丹後P T A指導者研修会」やP T Aの活動等について紹介する予定です。